

令和2年度葛飾区男女平等に関する意識と 実態調査 変更点（最終案）

1 はじめに

昨年10月に開催いたしました第2回男女平等推進協議会では、「令和2年度男女平等に関する意識と実態調査 変更点（案）」について貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。頂戴したご意見等を踏まえ、以下のとおり変更し、調査の実施に向けて準備を進めて参りたいと考えております。

2 第2回審議会のご意見を基に当初事務局案から修正及び再検討した設問及び項目について

(1) 問5-1自由記述回答から選択肢回答に修正する。

委員の皆様のご意見（要約）

- ・同じような選択肢が並んでいるから整理した方が良いと思う。
- ・選択肢3と8「外で」と「共に」があるが紛らわしいから1つで良いと思う。
- ・回答は1つだけでなく複数にしたほうが良いと思う。

⇒選択肢を再検討し、以下の内容で尋ねたいと思います。

(最終案)

問5-1 問5で回答した理由をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきでないから
3. 配偶者・パートナーが働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
4. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
5. 自分の両親も役割分担をしていたから
6. その他（ ）
7. わからない

(当初事務局案)

問5-1 問5で回答した理由をお答えください。

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 配偶者・パートナーが外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 配偶者・パートナーが家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、配偶者・パートナーが働き続けることは大変だと思うから
6. 男女平等に反すると思うから
7. 自分の両親も外で働いていたから
8. 配偶者・パートナー共に働いた方が、多くの収入を得られると思うから
9. 配偶者・パートナーが働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
10. 家事・育児・介護と両立しながら、配偶者・パートナーが働き続けることは可能だと思うから
11. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきでないから
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

(2) 問8働き方について「女性」だけでなく、男性も含めた「自分自身」の望ましい働き方について尋ねるように変更する。

委員の皆様のご意見 (要約)

- ・一つひとつの項目を細かく考えなくてはならない。
- ・社会の中で女性がどれだけ活躍しているのか集計した結果、どのように読み取るのかということ考えると女性の立場の働き方についてというデータがあった方が良いと思う。
- ・男性が答えるとするところの回答の選択肢は実態と合わない気がするから「女性の働き方」のままの方が良いと思う。

⇒前回から設問文言を変更せず「女性の働き方について」以下のとおりに尋ねたいと思います。

(最終案) ※前回調査と同様

問8 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。(〇は1つだけ)

1. 仕事を持たない
2. 結婚するまでは仕事を持つが、結婚後は持たない
3. 子どもができるまでは仕事を持ち、その後は持たない
4. 子育ての時期だけ一時やめて、その後はまた仕事を持つ
5. 結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事を持つ
6. その他 ()
7. わからない

(当初事務局案)

問8 自分自身の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。(〇は1つだけ)
※選択肢は最終案と同様

(3) 問8-1を新規追加し、問8の理由を選んで回答してもらいます。

委員の皆様のご意見 (要約)

- ・回答した理由をつけてもらうことは良いと思う。
- ・選択肢はシンプルな方が回答しやすい。
- ・大きく2つに分けられると思うが選択肢が混ざっているため回答しにくい。
- ・選択肢に「本人が望む働き方」というのを入れたほうが良いと思う。
- ・回答は1つだけでなく複数にしたほうが良いと思う。

⇒選択肢を再検討し、以下の内容で尋ねたいと思います。

(最終案)

問8-1 問8で回答した理由をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

1. 家庭を守り、家で子どもの面倒を見た方が良いと思うから
2. 仕事と家庭の両立支援が十分でないから
3. 経済力を持った方が良いと思うから
4. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから
5. 本人が望む働き方をするべきだと思うから
6. その他 ()
7. わからない

(当初事務局案)

問8-1 問8で回答した理由をお答えください。(〇は1つだけ)

1. 家庭を守るべきだと思うから
2. 子どもは家で面倒を見た方が良いと思うから
3. 経済力を持った方が良いと思うから
4. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから
5. 仕事と家庭の両立支援が十分でないから
6. 働き続けるのは大変そうだと思うから
7. その他 ()
8. わからない

(4) 問9 選択肢6、12の文言を修正する。

委員の皆様のご意見 (要約)

- ・問17-1の選択肢が「家族や親族に相談した」とあるから、「周囲」に統一した方が良いと思う。
- ・DVの相談は親族が多く、仕事については職場などの周囲の理解が必要なことが多い。
- ・「等」を入れると良いと思う。

⇒選択肢を再検討し、以下の内容で尋ねたいと思います。

問9 結婚や妊娠・出産により仕事を辞めた女性が再び仕事を持つことを希望する場合、あなたはどういうことが必要だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

(最終案)

6. 働き方の選択肢を多くすること
12. 家族や周囲等の理解と協力

(当初事務局案)

6. 働き方の選択肢を多くすること
12. 家族や周囲の理解と協力

(5) 問10-2 育児休業の選択肢5、8の文言を修正する。介護休業の選択肢5、8の選択肢を修正する。

委員の皆様のご意見（要約）

・前は「自営だからこういう制度が使えない」という回答が多くみられたため、選択肢としてあった方が良いと思う。

⇒選択肢を追加し、以下の内容で尋ねたいと思います。

問10 育児休業と介護休業、それぞれについてお答えください。 (最終案)	育児休業	介護休業
<p>(問10で「2. 利用したことはない」とお答えの方に)</p> <p>問10-2 利用しなかった理由はなんですか。 (回答の場合、○はどちらもあてはまるものすべて)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代替要員がないから 2. 前例がないから 3. 経済的な理由から 4. ブランクを空けたくなかったから 5. 配偶者など自分以外に子どもをみてくれる人がいたから 6. 育児休業制度を知らなかったから 7. 利用したくとも、取りにくい雰囲気だったから 8. 職場の育児休業制度が利用できなかったから 9. 出産前に離職したから 10. 自営業のため制度が使えないから 11. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代替要員がないから 2. 前例がないから 3. 経済的な理由から 4. ブランクを空けたくなかったから 5. 介護サービス利用など自分以外に介護をしてくれる人がいたから 6. 介護休業制度を知らなかったから 7. 利用したくとも、取りにくい雰囲気だったから 8. 職場の育児休業制度が利用できなかったから 9. 介護をするために離職したから 10. 自営業のため制度が使えないから 11. その他 ()

(当初事務局案)

	育児休業 <small>いくじきゅうぎょう</small>	介護休業 <small>かいごきゅうぎょう</small>
<p>(問 10 で「2. 利用したことはない」とお答えの方に)</p> <p>問 10-2 利用しなかった理由はなんですか。 (回答の場合、○はどちらもあてはまるものすべて)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 代替要員がないから <small>だいたいよういん</small>2. 前例がないから <small>ぜんれい</small>3. 経済的な理由から <small>けいざいてき りゆう</small>4. プランクを空けたくなかったから <small>ばんくをくわけてくわなかつたから</small>5. 配偶者など自分以外に子どもをみてくれる人がいたから <small>はいごうしや など じぶん いがい に こどもをみてくれる ひと がいたから</small>6. 育児休業制度を知らなかったから <small>いくじきゅうぎょうせいど をしらなかつたから</small>7. 利用したくとも、取りにくい雰囲気だったから <small>りよう したくとも、とりにくい ふんいき だつたから</small>8. 職場の育児休業制度が利用できなかったから <small>しょくば の いくじきゅうぎょうせいど がりようできなかつたから</small>9. 出産前に離職したから <small>しゅつさんまえ に りしょく したから</small>10. その他 ()	<ol style="list-style-type: none">1. 代替要員がないから <small>だいたいよういん</small>2. 前例がないから <small>ぜんれい</small>3. 経済的な理由から <small>けいざいてき りゆう</small>4. プランクを空けたくなかったから <small>ばんくをくわけてくわなかつたから</small>5. 介護サービス利用など自分以外に介護をしてくれる人がいたから <small>かいご サービス りよう など じぶん いがい かいご をしてくれる ひと がいたから</small>6. 介護休業制度を知らなかったから <small>かいごきゅうぎょうせいど をしらなかつたから</small>7. 利用したくとも、取りにくい雰囲気だったから <small>りよう したくとも、とりにくい ふんいき だつたから</small>8. 職場の育児休業制度が利用できなかったから <small>しょくば の いくじきゅうぎょうせいど がりようできなかつたから</small>9. 介護をするために離職したから <small>かいご をするたため に りしょく したから</small>10. その他 ()

(6) 問14 選択肢 (ア)、(ウ)、(カ)、(キ)、(ケ)、(コ) の文言を修正する。

委員の皆様のご意見 (要約)

・ 選択肢 (コ) は外出中の方が良いと思う。

⇒ 選択肢を修正し、以下の内容で尋ねたいと思います。

問14 セクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ) は一定の人間関係の中で発生し、職場だけでなく、あらゆる場所で男女ともに受ける可能性があります。あなたはこれまでに、職場・学校・地域で、次のような不愉快な経験をしたことがありますか。

(○は職場、学校、地域ごとに、あてはまるものすべて)

(最終案)

回答の例

職場	学校	地域
----	----	----

(ア) いやがっているのに性的な話・言葉を聞かされた	1	1	1	1
(ウ) 不必要に身体を触られた	3	3	3	3
(カ) 性的行為を強要されたり、されそうになった	7	7	7	7
(キ) 性的な噂をたてられたり、インターネットやSNSに書き込まれたりした	8	8	8	8
(ケ) 容姿、年齢などについて傷つくようなことを言われた	10	10	10	10
(コ) 外出中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした	11	11	11	11

(当初事務局案)

回答の例

職場	学校	地域
----	----	----

(ア) いやがっているのに性的な話・言葉を聞かされた	1	1	1	1
(ウ) 不必要に身体を触られた	3	3	3	3
(カ) 性的行為を強要されたり、されそうになった	7	7	7	7
(キ) 性的な噂をたてられたり、インターネットやSNSに書き込まれたりした	8	8	8	8
(ケ) 容姿、年齢などについて傷つくようなことを言われた	10	10	10	10
(コ) 外出途中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした	11	11	11	11

(7) 問19性の対象者を「女性」限定にしないよう変更する。

委員の皆様のご意見（要約）

- ・アンケートの趣旨から考えて「女性」はつけるべきだと思う。
- ・女性の性の問題も解決されていないからそのままの方が良いと思う。

⇒前回から設問文言を変更せず「女性を」つけて以下のとおり尋ねたいと思います。

（最終案）※前回調査と同様

問19 テレビ、ビデオ、インターネット、映画、新聞、雑誌、広告などのメディアでの固定的な性別役割分担*の表現や女性に対する暴力、身体、表現について、あなたは日頃どのように感じていますか。（〇はあてはまるものすべて）

※「固定的な性別役割分担」とは、男性、女性という性別を理由として、「男性は仕事・女性家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等、男性・女性の役割を固定的に決めることをいいます。

1. 固定的な性別役割分担を助長する表現が目立つ
2. 性を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
3. 社会全体の性や暴力に関する倫理観が損なわれている
4. 犯罪を助長する恐れを感じる
5. 子どもの目にふれないような配慮が足りない
6. 自分の意思と関係なく目に入ることがあり、気分を害する
7. その他（)
8. 特に問題はない
9. わからない

（当初事務局案）

問19 テレビ、ビデオ、インターネット、映画、新聞、雑誌、広告などのメディアでの固定的な性別役割分担*の表現や性に対する暴力、身体、表現について、あなたは日頃どのように感じていますか。（〇はあてはまるものすべて）

※選択肢は最終案と同様

(8) 問21「セクシャル・マイノリティ」から「LGBT」又は「SOGI」と表現を変えて認知度を調査します。

委員の皆様のご意見（要約）

- ・「LGBT」に関して理解してもらおう段階であるから、「LGBT」の方が良いと思う。
- ・性の多様性という意味では「SOGI」の方が適切だが、世間一般の認知度はまだ低く、ようやく「LGBT」が浸透しつつある。
- ・全体を表す「セクシャル・マイノリティ」のままでも良いが、メディア等では「LGBT」

と書いてあることが多いから、今回は「LGBT」を進めていくことで良いのではないか。
⇒「セクシャル・マイノリティ」から「LGBT」と表現を変えて以下のとおり認知度を調査します。

※LGBT

Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、性別越境者）の頭文字をとった単語で、セクシャル・マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつです。電通ダイバーシティ・ラボの2018年の調査では、日本におけるLGBTの割合が人口の8.9%存在すると言われています。

葛飾区男女平等推進計画（第5次）より引用

(9) 問22対象を「女性」限定にしないよう変更する。

委員の皆様のご意見（要約）

- ・質問が「妊娠・不妊・出産・産後についての情報提供」等なので、女性限定にはいけない理由がないと思う。
 - ・何を聞きたいのかははっきりさせるべきだと思う。男性に「自分が健康を守るために何が必要か」ということを聞きたいのだとすると選択肢が少ない。「産む性の人」や産むじゃなくても「女性がこういう風に考えたら良いのか」ということを聞きたいのだとしたら「女性」を取ることで男性が回答者だと自分のことを考えて回答してしまい「その他」が多くなることになってしまう可能性がある。
 - ・「中絶」の文言は若い人にピンとくるし、大事なプロセスなので入れた方が良くと思う。
- ⇒前回同様に女性のことについて尋ねることとするため、設問に「女性が」をつけたいと思います。また、選択肢2を以下のとおり変更し尋ねたいと思います。

(最終案)

問22 あなたは性や妊娠・出産に関して自分で決め、女性が自分の健康を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 子どもの成長と発育に応じた性教育
2. 性や妊娠／予期せぬ妊娠・出産・産後・不妊についての情報提供・相談体制の充実
3. 喫煙や薬物等、男女の健康への害についての情報提供・相談体制の充実
4. 性感染症（カンジダ症、クラミジア感染症など）についての情報提供・相談体制の充実
5. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
6. 「子どもの数や子どもを産むか産まないか等について自分で決めること」という考え方についての情報提供・相談体制の充実
7. その他 ()
8. わからない

(当初事務局案)

問22 あなたは性や妊娠・出産に関して自分で決め、女性が自分の健康を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 子どもの成長と発育に応じた性教育
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 喫煙や薬物等、男女の健康への害についての情報提供・相談体制の充実
4. 性感染症（カンジダ症、クラミジア感染症など）についての情報提供・相談体制の充実
5. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
6. 「子どもの数や子どもを産むか産まないか等について自分で決めること」という考え方に
ついての情報提供・相談体制の充実
7. その他（)
8. わからない

3 第2回審議会で前回調査から変更・再検討した方が良くのご提言頂いた設問及び項目について

(1) 問18について

委員の皆様のご意見（要約）

- ・子どものことも書いてほしい。子どものことが心配でなかなか相談しないとか逃げないということもあるので、他の選択肢を削っても子どもに関する選択肢を加えた方が良くと思う。

⇒選択肢を修正し、以下の内容で尋ねたいと思います。

問18 あなたは、ドメスティック・バイオレンスの防止および被害者支援のために、どのような対策が必要だと思えますか。（〇はあてはまるものすべて）

（最終案）

1. 家庭内であっても暴力は犯罪であるという意識を広める
2. いざというときに駆け込める緊急避難場所（シェルター）の整備
3. 緊急時の相談体制の充実
4. 住居や就労の斡旋、経済的援助など、自立して生活するための支援策の充実
5. カウンセリングや日常的な相談など、精神的に自立するための支援策の充実
6. 子どもがいても安心して相談・避難ができるような体制の充実
7. 暴力への対応方法や関係機関の紹介など、ドメスティック・バイオレンスに関するいろいろな知識の提供
8. 離婚訴訟への支援など、法的なサポートの充実
9. 加害者の自覚を促すプログラムなど、対応の充実
10. デートDV※防止講座の開催や男女平等教育の推進など、学校などにおいて暴力を防止するための教育を行う
11. 行政や警察による積極的な啓発活動
12. 法律による規制の強化や見直しを行う
13. 身近で配偶者やパートナーによる暴力に気付いたら、周囲の人が通報することが大切であるという意識づくりを行う
14. その他（)
15. わからない

※「デートDV」とは、交際相手からの暴力のことで、配偶者からの暴力を未然に防止するために、主に若年層を対象としたDV防止の啓発が学校現場などで行われています。

(当初事務局案)

1. 家庭内であっても暴力は犯罪であるという意識を広める
2. いざというときに駆け込める緊急避難場所（シェルター）の整備
3. 緊急時の相談体制の充実
4. 住居や就労の斡旋、経済的援助など、自立して生活するための支援策の充実
5. カウンセリングや日常的な相談など、精神的に自立するための支援策の充実
6. 相談・支援するスタッフの意識と能力を高める
7. 暴力への対応方法や関係機関の紹介など、ドメスティック・バイオレンスに関するいろいろな知識の提供
8. 離婚訴訟への支援など、法的なサポートの充実
9. 加害者の自覚を促すプログラムなど、対応の充実
10. デートDV*防止講座の開催や男女平等教育の推進など、学校などにおいて暴力を防止するための教育を行う
11. 行政や警察による積極的な啓発活動
12. 各種メディアの表現やビデオソフトの販売・貸し出しを規制する
13. 法律による規制の強化や見直しを行う
14. 身近で配偶者やパートナーによる暴力に気付いたら、周囲の人が通報することが大切であるという意識づくりを行う
15. その他（）
16. わからない

(2) 問24について

委員の皆様のご意見（要約）

・女性の参画状況について尋ねているが、ネガティブな回答が多かった。質問を読んだら「葛飾区では、審議会等への女性の参画率を、平成28年度末に30%以上とすることを目標としています」とまず結論だけ書かれている。そうすると初めてご覧になった方は「え？」とってしまう。なんで目標としているのか状況説明がないと「今のままでよい」という答えを非常に誘発している気がする。

⇒前段に「理由・背景」を加え、以下の内容で尋ねたいと思います。

(最終案)

問24 葛飾区では、区の施策に女性の意見が十分に反映されるよう、審議会等の政策・方針決定過程への女性の参画を促進しております。そのため、「葛飾区男女平等推進計画（第5次）（平成29年度～令和3年度）の計画期間中に審議会等への女性の参画率を、令和3年度末に30%以上とすることを目標としています。現在、区議会議員の中に占める女性議員の数は38人中11人（28.9%）、審議会等の女性委員は909人中268人（29.5%）となっています。あなたは、この状況をどのように思いますか。（〇は1つだけ）

(前回調査)

問24 葛飾区では、審議会等への女性の参画率を、平成28年度末に30%以上とすることを目標としています。現在、区議会議員の中に占める女性議員の数は39人中9人（23.1%）、審議会等の女性委員は877人中237人（27.0%）となっています。
あなたは、この状況をどのように思いますか。（〇は1つだけ）

(3) 問25について

委員の皆様のご意見（要約）

・どれも暗く希望がないような選択肢でマイナスイメージがついてしまう。女性自身が変わっていかねばならない面もあるが、実態に即して言えば「家族の理解がない」とか「お金がない」ということがある。現実的な問題を選択肢に入れたほうが、より前向きになれると思う。
⇒選択肢を修正し、以下の内容で尋ねたいと思います。

問25 あなたは議員や審議会委員など政策や方針を決定する過程への女性の参画を妨げているのは、どのようなことだと思いますか。（〇はあてはまるものすべて）

(最終案)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識があるから
2. 女性の参画を進めようとして意識している人が少ないから
3. 女性の能力開発の機会が十分でないから
4. 家族の理解がない・賛成を得られないから
5. 男性優位の組織運営に問題があるから
6. 女性側の積極性が足りない（責任ある地位に就きたがらない）から
7. 指導力のある女性が少ないから
8. 金銭的な余裕がないから
9. 政党が積極的に女性が参加できるような方針を立ててないから
10. その他（)
11. わからない

(前回調査)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識があるから
2. 男性優位の組織運営に問題があるから
3. 家族の支援・協力が得られないから
4. 女性の能力開発の機会が十分でないから
5. 女性側の積極性が足りないから
6. 女性の参画を進めようと意識している人が少ないから
7. 女性自身が責任ある地位に就きたがらないから
8. 女性は組織活動の経験が少ないから
9. 指導力のある女性が少ないから
10. 女性では、女性がついてこないから
11. 女性では、男性がついてこないから
12. 女性では相手に軽く見られるから
13. 男性で行っていくのが社会慣行だから
14. その他 ()
15. わからない

(4) 問29について

委員の皆様のご意見（要約）

・過去の調査結果をみると、センターが使われていないのは、PR 方法と開催時間帯が昼間だということが問題と思われるので、それが分かるような選択肢を考えた方が良くと思う。

⇒選択肢を修正し、以下の内容で尋ねたいと思います。

問29 葛飾区男女平等推進センターにおいて、あなたが参加または利用してみたいものはどれですか。（〇はあてはまるものすべて）

（最終案）

1. 平日の日中に開催される男女平等に関する講座・講演会
2. 平日の夜間や土日に開催される男女平等に関する講座・講演会
3. 男女平等に関する図書資料室（図書や雑誌等の閲覧・利用など）
4. 相談事業（法律相談、悩みごと相談、女性に対する暴力相談）
5. パルフェスタ（センターまつり）、啓発誌の発行などの啓発事業
6. 学習・交流のための会議室や学習室
7. 登録団体・グループの自主活動
8. その他（)
9. 特にない

（前回調査）

1. 男女平等に関する講座・講演会
2. 男女平等に関する図書資料室（図書や雑誌等の閲覧・利用など）
3. 相談事業（法律相談、悩みごと相談、女性に対する暴力相談）
4. パルフェスタ（センターまつり）、啓発誌の発行などの啓発事業
5. 学習・交流のための会議室や学習室
6. 登録団体・グループの自主活動
7. 区民参加による男女平等推進センターの運営
8. その他（)
9. 特にない

(5) **F1**について

委員の皆様のご意見（要約）

- ・F という回答者のことを尋ねる項目があるが、内閣府の同様の調査では個人について聞くのは最後についている。また、アンケートについて分析するためにあなた自身のことを教えてくださいという説明があってから聞く方が望ましいと思う。

⇒F については質問の最後に移動させ、説明を加え以下の内容で尋ねたいと思います。

(最終案)

◎最後に、ご回答を統計的に分析するために、失礼ですが、現在のあなた自身のことについておたずねします。

(前回調査)

◎はじめに、現在のあなた自身のことについておたずねします。

(6) **F2**について

委員の皆様のご意見（要約）

- ・年齢を尋ねているが10代は非常に少なく、集計すると10代の回答が生かされない集計になるので、最初から10代と20代はまとめてしまっても良いと思う。

⇒選択肢を修正し、以下の内容で尋ねたいと思います。

(最終案)

F2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和2年6月1日現在) (〇は1つだけ)

1. 10・20歳代	3. 40歳代	5. 60歳代	7. 80歳代以上
2. 30歳代	4. 50歳代	6. 70歳代	

(前回調査)

F2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成27年6月1日現在) (〇は1つだけ)

1. 10歳代	3. 30歳代	5. 50歳代	7. 70歳代
2. 20歳代	4. 40歳代	6. 60歳代	8. 80歳以上

(7) **F3**について

委員の皆様のご意見（要約）

- ・結婚について肢1の「事実婚を含む結婚」と肢2の「結婚していいないが同居の異性パートナーがいる」の違いが分からないので修正した方が良いと思う。

⇒選択肢を修正し、以下の内容で尋ねたいと思います。

(最終案)

F3 あなたは結婚していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 結婚している (事実婚を含む) | 4. 結婚していたが、離別・死別した |
| 2. 結婚していないが同居の異性のパートナーがいる
(事実婚を含む) | 5. 結婚していない |
| 3. 結婚していないが同居の同性のパートナーがいる | |

(前回調査)

F3 あなたは結婚していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 結婚している (事実婚を含む) | 4. 結婚していたが、離別・死別した |
| 2. 結婚していないが同居の異性のパートナーがいる | 5. 結婚していない |
| 3. 結婚していないが同居の同性のパートナーがいる | |

(8) その他

委員の皆様のご意見 (要約)

- ・最後に「ご協力ありがとうございました」と言って終わっているけれども、長いアンケートに答えてくれた方に対して、どのように今回の結果がお知らせされるのかを明記した方が良いと思う。

⇒文章を加え、以下の内容で周知を図りたいと思います。

(最終案)

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)にて〇月〇〇日(〇)までにご投函ください。なお、調査結果はお送りできませんが、12月以降、男女平等推進センターや区立図書館などで調査報告書をご覧いただけるほか区のホームページにも掲載いたします。

(前回調査)

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)にて7月13日(月)までにご投函ください。

4 参考第2回審議会でご承認いただき事務局案のとおり変更する設問及び項目について

(1) 調査回答手段の追加

20代や30代といった若者世代の回答率向上を目指し、郵送回収に加え、調査対象者が自身のスマートフォン等を用いて、インターネットから専用のホームページを通じて回答できるようにします。

(2) 問1-1 選択肢5、10の文言を修正する。

(問1で3～4のいずれかをお答えの方に)

問1-1 具体的に、どのような点で男女の不平等を感じますか。
(〇はあてはまるものすべて)

(次回調査)

5. 「男らしさ、女らしさ」という考えが、人々の間にあること
10. 学校や日常生活の中で、男女による役割分担があること

(前回調査)

5. 「男は仕事、女は家庭」という考えが、人々の間にあること
10. 学校生活の中で、男女による役割分担があること

(3) 問4 選択肢(オ)、(ク)、(ケ)、(コ)の文言を修正する。

問4 家庭の中で、あなたは(ア)～(シ)にあげることを、どの程度行っていますか。
(〇はそれぞれ1つずつ)

(次回調査)

	いつもしている	よくやる	ほとんどしない	まったくしない	子どもや介護する人がいないのでする必要がない
回答の例 →	1	2	3	4	5
(オ) 部屋の掃除・片付け	1	2	3	4	
(ク) 町内会や自治会、PTAへの出席	1	2	3	4	
(ケ) 育児・子どもの教育や保育園・幼稚園への送迎	1	2	3	4	5
(コ) 家族の病気の看護・介護	1	2	3	4	5

(前回調査)	5 いらない	4 まあまあ	3 まあ	2 まあまあ	1 必要がない
	1	2	3	4	5
(オ) 部屋の掃除	1	2	3	4	
(ク) 町内会や自治会への出席	1	2	3	4	
(ケ) 保育園・幼稚園への送迎	1	2	3	4	5
(コ) 介護・看護	1	2	3	4	5

(4) 問7 選択肢5の文言を修正する。

問7 あなたの職業は、次のどれですか。(〇は1つだけ)
(次回調査)

5. 派遣・契約嘱託社員

(前回調査)

5. 派遣・契約社員

(5) 問7-1 選択肢に「13. わからない」を追加する。

(6) 問12 (ア)、(イ)の選択肢7の文言を修正する。

問12 生活の中での、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、(ア)希望と(イ)現実(現状)、それぞれお答えください。
(次回調査)

(ア) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

(イ) あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

(前回調査)

(ア) あなたの希望に最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべて優先したい

(イ) あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のすべて優先している

(7) 問13 選択肢4、6の文言を修正する。

問13 ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

(次回調査)

4. 男女ともに様々なライフスタイルを選択できるという意識の普及を図る

6. 賃上げ、業務の効率化などにより、長時間労働を改善する

(前回調査)

4. 男女ともに仕事も家庭もという意識の普及を図る

6. 業務の効率化などにより、長時間労働を是正する

(8) 問15-2 選択肢に「12. 自分で加害者に対応しようと思ったから」を追加する。

(9) 問16 選択肢(ク)の文言を修正する。また、選択肢に「(タ) 元交際相手などに性的な画像をインターネット上に公開される「リベンジポルノ」の被害を受けたことがある」を追加する。

問16 「ドメスティック・バイオレンス」とは、配偶者などに対し著しい身体的または精神的苦痛を与える暴力的行為をいいますが、あなたはこれまでに配偶者(事実婚や別居、離別を含む)や恋人などのパートナーから、次にあげる(ア)～(タ)のような経験がありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

(次回調査)

	あ 何 っ た も	あ 1、 っ た 2 度	な い ま っ た く
回答の例	①	2	3
(ク) 常に居場所を把握する、交友関係や電話、メール、郵便物、SNSを細かく監視するなど付き合いを制限される	1	2	3
(タ) 性的な画像をインターネット上に公開される「リベンジポルノ」の被害を受けたことがある	1	2	3

(前回調査)			
	あ つ た も 何 度 も	あ つ た 1、 2 度	な い ま っ た く
	1	2	3
(ク) 常に居場所を把握する、交友関係や電話、メール、郵便物を細かく監視するなどのつきまとい行為をされる	1	2	3

(10) 問17-1 選択肢8の文言を修正する。

問17-1 そのとき、だれ(どこ)に相談しましたか。(〇はあてはまるものすべて)
(次回調査)

8. 家族や親族に相談した

(前回調査)

8. 家族に相談した

(11) 問17-2 選択肢に「12. 自分で加害者に対応しようと思ったから」を追加する。

(12) 問18 選択肢1、7、9の文言を修正する。

問18 あなたは、ドメスティック・バイオレンスの防止および被害者支援のために、どのような対策が必要だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)
(次回調査)

1. 家庭内であつても暴力は犯罪であるという意識を広める

7. 暴力への対応方法や関係機関の紹介など、ドメスティック・バイオレンスに関するいろいろな知識の提供

9. 加害者の自覚を促すプログラムなど、対応の充実

(前回調査)

1. 家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発

7. 関係機関の紹介や暴力への対応方法など、ドメスティック・バイオレンスに関するいろいろな知識の提供

9. 加害者向けプログラムなど、対応の充実

(13) 問20-1 自由記述回答から選択肢回答に変更する。

問20で「1. ある」とお答えの方に
(次回調査)
問20-1 どのようなことで悩みましたか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 男らしさ・女らしさを求められたこと
2. 異性に生まれたかったこと
3. その他()

(前回調査)
問20-1 どのようなことで悩みましたか。(自由回答)

(14) 問26 設問の回答方法及び選択肢1の文言を修正する。

(次回調査)
問26 あなたは政治や行政において企画や方針決定の過程で女性の参画を進めていくためには、
どうしたらよいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 政治や行政について、男女の意識を変えるためのセミナーなどを積極的に開催する

(前回調査)
問26 あなたは政治や行政において企画や方針決定の過程で女性の参画を進めていくためには、
どうしたらよいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 政治や行政について、女性の意識を高めるためのセミナーなどを積極的に開催する

(15) 問30 選択肢5、7の文言を修正する。

問30 あなたは男女平等社会を実現するために、今後、区ではどのような施策を充実したらよい
と思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

(次回調査)

5. 女性の自立や男女平等に関する講座・講演会や交流イベントの充実
7. 男性向けの育児や介護などに関する講座の開催

(前回調査)

5. 女性の自立や男女平等に関する講座・講演会の充実
7. 男性向けの家族的責任に関する講座の開催

(16) 設問の削除について

① F 4-1 一番下のお子さんの年齢について

F 4 お子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つだけ)

1. いる	2. いない
-------	--------

(F 4で「1. いる」とお答えの方に)

F 4-1 一番下のお子さんはおいくつですか。(〇は1つだけ)

1. 3歳以下	4. 中学生	7. その他
2. 4歳以上 (小学校入学まで)	5. 高校生以上の学生 ()	
3. 小学生	6. 社会人	

② F 5 世帯構成について

F 5 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場 (自分が親、自分が子ども)にかかわらず、世帯構成をお答えください。(〇は1つだけ)

1. ひとり暮らし	4. 親と子ども夫婦 (二世帯家族)
2. 夫婦のみ (一世帯家族)	5. 親と子ども夫婦と孫 (三世帯家族)
3. 親と未婚の子ども (核家族)	6. その他 ()